

平成30年第12回那珂市教育委員会定例会 会議録

1 日 時 平成30年12月20日(木) 開 会 午後1時30分～

2 場 所 瓜連支所2階 会議室4

3 出席委員

教 育 長	大 縄 久 雄
教育長職務代理者	中 澤 明
委 員	住 谷 光 一
委 員	佐 藤 哲 夫
委 員	小笠原 聖 華

4 委員以外の出席者

教育部長	高 橋 秀 貴
学校教育課長	小 橋 聡 子
副参事兼学校教育課指導室長	沼 田 義 博
学校教育課課長補佐(総括)	会 沢 実
学校教育課課長補佐	寺 門 珠 美
学校教育課課長補佐	寺 門 征 信
学校教育課主査	増 子 之 江
生涯学習課長	高 安 正 紀
生涯学習課課長補佐(総括)	萩野谷 智 通
芳野幼稚園園長	金 子 敬 司

5 日程第1 教育長の日程報告

(1) 行事について

6 日程第2 議案

議案第24号 那珂市立ひまわり幼稚園教育方針について
議案第25号 那珂市教育委員会点検・評価報告書について
議案第26号 第15回那珂市教育振興大会被表彰者について

7 日程第3 報告

報告第36号 後援承認について
報告第37号 指定学校変更許可について
報告第38号 区域外就学許可等について
報告第39号 いじめ重大事態事案調査報告について

閉会

(会議の概要)

大縄教育長 本日、委員は5名全員が出席しております。地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第3項の規定により教育長及び在任委員の過半数が出席しておりますので、今会議は成立することを宣言します。
ただいまより、平成30年第12回教育委員会定例会を開催いたします。それでは日程第1教育長の日程報告について、事務局より報告願います。

増子主査 はい。教育長の日程報告について。
※以下、教育長の日程報告について説明。

大縄教育長 ただいまの報告につきまして、質疑のある議員は挙手をお願いいたします。

大縄教育長 意見がないようですので、日程第1教育長の報告については終結いたします。
続きまして、日程第2議案、議案第24号、那珂市立ひまわり幼稚園教育方針について、学校教育課長より説明願います。

小橋課長 はい。議案第24号、那珂市立ひまわり幼稚園教育方針について。
※以下、那珂市立ひまわり幼稚園教育方針について説明。

沼田室長 議案第24号、那珂市立ひまわり幼稚園教育方針補足説明について。
※以下、那珂市立ひまわり幼稚園教育方針について補足説明。

大縄教育長 それでは質疑に移ります。ただいまの議案24号につきまして質疑のある委員は挙手をお願いいたします。

小笠原委員 幼稚園の目指す教師像についてなんですけど、学校ではなく小学校や中学校ではなく、幼稚園で指導力がある教師というのはどういうイメージをお持ちなのか伺いたい。

金子園長 はい。今日は特別に幼稚園ということなものですから出席させていただきました。芳野幼稚園の金子と申します。よろしくお願います。今ご質問の指導力ですが、幼稚園の場合、子どもに対しても、あと保護者に対しても、あと同僚に対しても、それぞれの立場で対応はいろいろあると思いますが、指導力が重要であるということで、ここで指導力という言葉がどうかってことかと思いますが、入れさせていただきました。それぞれの幼稚園にとって、年齢もバラバラですので、同僚としての指導力ということも含めての指導力として入れさせていただきました。以上です。

小笠原委員 やはりこれは、子どもに対してというよりは、先生方同士？

金子園長 はい。子どもと、その下にもあるんですが、保護者に対しても、という意味で、大きなくくりで理解していただければ。

大縄教育長 よろしいでしょうか。

小笠原委員 はい。

大縄教育長 他、いかがでしょう。

佐藤委員 私も表現のことだけれども、言わんとしていることはわかります。表現的に、指導力がある教師を目指す。表現の仕方ですけれど、指導力がなければ困る。保護者としても、我々としても。あるというよりは、より高い、高い指導力のある教師を目指すということですよね、言いたいことは。指導力は誰も持っていると思う。教師になった時点で、指導力というのは。みんながそれなりに持っていることだと思っただけけれど、指導力がある、といったところに私もひっかかったんですが、より高い指導力として意味したのかなって思いました。同じく、幼稚園教育方針、かなり高い、上位の目標のことになりますが、その中の3番と5番に、自分なりのという言葉が入っているんですが、上位の目標、高い基本的な教育方針という中で、自分なりのという表現が、腑に落ちなかったというか、こういう幼稚園教育の方針の中で、自分なりの考え、自分なりに表現する、先ほど室長から思考力の芽生え、芽生えの段階なので、自分なりのという表現になったと思うんだけど、表現としては、言葉が適切ではないかもしれないけれど、甘いと思うんだな、表現が。自分なりのというのを別な表現にならないかな。子どもだから自分なりのという表現になるのかもしれないけれど。

金子園長 もともとは入ってなかったんです。ただ、いろいろな幼児がいるものですから、その子にあったという思いの方が高まって、自分なりという、それぞれの目標として、自分なりっていう言葉を入れたっていう経緯はあるんですが、その辺のところ、今言われた通り、高い方針であれば、その辺の言葉を変える必要があってもいいのかなと、個人としては思います。

佐藤委員 いま金子先生が言われたことは、よくわかります。今後の目標に掲げる目標として、3番と5番に2か所入っているんだけど、自分なりのという、その子に応じた、発達に応じた、そういう意味合いの言葉はないかな、室長。

沼田室長 自分なりのという言葉には、新幼稚園要領の中の改訂の総則の中で、実際に使われているんです。その言葉が、幼稚園生活の中で豊かな感性と自分なりの表現を大切にするとか謳われているので、こちらの方を採用させていただきました。

佐藤委員 どこかで使われているのを引用というか、取り入れたんだろうというのはわかるんだけど、この教育方針のところ掲げるのに、ふさわしい言葉なのかなと。検討してください。意見です。

住谷委員 私、同意見なんですけど、教育方針の1、2、3、4、5を見た場合に、自分

らしさといういは、言葉としてそぐわないなど、もうちょっと別な表現があ
っていいんじゃないかと思ったんですけど、検討なさって、変えるかどうか、
基本方針として、公の目標としてのものに対して、かなり私的な要素が非常に
強いと感じますので、そのへんを考えていただければなと思います。

中澤委員 まず読ませていただいて感じたことは、めざす幼児像、めざす教師像、めざす
幼稚園像、いっぱいあるんだなあという感じがありました。要するにいま聞い
た場合においては、室長の方から聞いて、幼稚園の要領の中から引用されてと
いうことですが、最終的には幼稚園の場合において、めざす園児像、めざす教
師像と、全部書いてあった場合において、勤めている教員が、さっと言えな
ければ絶対にだめなんです。だから、1つか2つ、多くて3つだと思います。そ
うじゃないと、焦点がぼやけてしまうと思います。

大縄教育長 ありがとうございます。

小笠原委員 すみません。思い出したので。なぜ指導力にひっかかったのかを思い出して。
いま、スポーツ界で指導という言葉がいろいろと曲解して使われている中で、
ともすれば、小さな子どもに対して、上から指令を与えて、意のままに動かす
っていう、そういう指導ではないよなということには十分にわかっているけれど、
スポーツの指導とか体罰とかってときによく、指導するためにやったとかいう、
そういうイメージが、このところ強いので、私が勝手にひっかかったという
ことなんですけど、でも、その前後に向上力があって、保護者の信頼を得てい
る教師というのは、絶対に指導力があるはずだなど、中澤委員のお話のように
数を減らすのであったら、今これを、どーんと前に出すのは、いらぬ誤解を生
まないといいなあと、そういう危惧がちょっとあって。

住谷委員 小笠原委員がおっしゃられたように、指導力のある教師を抜いたとして、明る
い積極的な教師、愛情あふれる心豊かな教師、一人一人の子どもを大切にでき
る教師、常に向上心がある教師、保護者の信頼を得る教師、すなわちこれ、指
導力のある教師そのものであると思いますので、特段これを入れておく必要が
あるのかなという気はありますね。実際はそうなんですけど、幼稚園の段階で
は削除してもいいのではないかと思います。意見です。

大縄教育長 文言を含めて、今回いただいたようなご意見については、検討をしていきま
しょう。

小橋課長 持ち帰らせていただいて、検討させていいたきたいと思います。

大縄教育長 その他どうでしょう。幼稚園の教育方針について。

大縄教育長 よろしいでしょうか。

それでは、今いただいたご意見をもとに、再度、協議して、次回までに報告で
きればということをお願いします。それでは議案第24号については以上で終

結といたします。ここで金子園長は退席になります。ありがとうございました。

———金子園長、退席———

大縄教育長 続きます、議案第25号、那珂市教育委員会点検・評価報告書について、学校教育課長より説明願います。

小橋課長 この説明についてはグループ長がおこないます。

寺門(征)補佐 はい。議案第25号、那珂市教育委員会点検・評価報告書について。
※以下、那珂市教育委員会点検・評価報告書について説明。

大縄教育長 それでは議案第25号について質疑のある委員は挙手をお願いいたします。

住谷委員 最後の教育行政点検評価委員への報告書の説明会ってというのは、よくわからないんですけど、どういう場で、誰が誰に説明するのか、教えてください。

寺門(征)補佐 教育委員会事務局職員が、教育行政点検評価委員さんに、できあがった報告書の冊子を事前にお配りして、事務局職員が書いてある内容について、補足説明と、委員さんからの質問に答えたものです。

住谷委員 教育委員会の事務方の方々が複数で、相手は何人ですか。

寺門(征)補佐 2人です。

住谷委員 その方に対して説明するということですか。

寺門(征)補佐 そうです。

大縄教育長 具体的に、今年はいつ、これをやって、誰と誰が出席したのか。

寺門(征)補佐 10月23日の午前10時から始まりまして、参加者としましては、常磐大学准教授の渡邊先生と、後藤哲也さんですね、元校長先生と、元幼稚園長だった。この2名をお迎えして、事務方から説明をさせていただきました。

大縄教育長 事務方は誰が出席したの。

寺門(征)補佐 事務局はですね、学校教育課長、学校教育課長補佐総括、指導室長、生涯学習課長、生涯学習課長補佐総括と、事務局である、総務再編グループの私、寺門と増子、そして、学務施設グループ長である寺門が参加をして説明をしました。

小笠原委員 先ほどの要約したものの評価報告書の概要の3ページの下の方で、平成31年点検評価報告書うんぬんで、意見を受けて変更した箇所のところ、6項目に

増やしましたというお話でしたが、どの箇所でしょうか。

寺門(征)補佐 19ページですね、催し等への参加活動というものが今まではなかったんですが、教育委員さんの方々がかなり活躍されているんですけど、なかなか目に見えづらいところではと思ひまして、今回、こういった項目を設けることによりまして、市民の方も教育委員さんが、ご活躍されているのかがわかるのかなと、会議にだけ出席しているわけではないことがわかるような形にするために付け加えることを採用しました。

小笠原委員 概要版ですが、増えたのがどこなのか、それがどの部分なのかっていうことを、ページ数などで表記していただくとありがたかったかなあと思うのと、先ほど、これをお話しいただいたんですけど、どこの部分なのかになってことが、わかりづらかったということと、読み上げに始終して長くなるっていうのは、どの会議でも退屈になってしまって、難しいなあって思うんですけど、どこが変わって、その変更がどういう意図でっていうことは、ある程度書いてある内容を、特にお話しいただいた方が、評価委員さんにとってもわかりやすかったんじゃないのかなっていうことは思って、何でかって言いますと、今回、評価委員さんの先生のお話が、割と今までは感じなかったんですけど、方法自体に言及されている、そういうことが今まではあったのかなと、記憶にないのですが、もったいないなって思うところです。

大縄教育長 その他どうでしょう。

小笠原委員 教育委員会の活動の中で、教育委員会と市長との連携ですが、今後の方向として意見に関する交換をするとともに、を入れてもらってよかったなと思います。が、総合教育会議の内容そのものについてってことになる、委員会だけでは決められないことになってしまうので、ここはAにせざるを得ないですかね。

小橋課長 総合教育会議っていうのは、市長の考えを教育委員会とすり合わせるってことではないんですけど、市長の方から方針を出して、それに対して教育委員さんが会議に出てご意見をいただくってことが会議の基本的なスタイルになっています。事務局は総務課で、教育に関していろいろなことの話し合いに臨むというわけで、私たちは招集されて、行って、会議に出していただいているということで、会議が開催されたということで、市長と教育委員さんが一緒の場を設けられ、話し合いができたということでの評価になっています。

小笠原委員 もし、ここでAでないとしたら、この委員会の活動としては目立つと思うんですね。そうするとなぜAでないのか、今後の会議の在り方に対して一石を投じること、ならないかなあと、何も市長に文句を言いたいわけではないのですが、せっかく、あの場にて首長と直接お話しできるいい機会であるからこそ、方針について、ただのイエスマンになるのではなく、外部の人間ならではの討論というものが行われた方が有意義だと思うので、私は行政の仕組みが分からないからこそ、逆に言っちゃうのかもしれないんですけど、もったいないな

と。思。っ。て。

小橋課長 小笠原委員の言うとおりののかなと思います。やったから A ではないのかもしれないのかと、私の中でも思いが出てきたところです。総合教育会議は大変重要な場だとは思っていますので、それが充実した内容であったかどうかを、この教育委員会として点検評価をするわけなので、小笠原委員が言ったような視点は、あってもいいのかなと、その中身によっては十分に議論が尽くされなかったとなれば、ここは B ではないかと、ということがあるのかなとは思っています。

住谷委員 たぶん、事件の後を受けての文部省なりの改訂なので、他の市町村はわかりませんが、市長さんによっては、教育に関して意見を言うことに躊躇することはどこの市町村であるような感じなんですね。特に那珂市がそういうことだということではないとは思っています。教育に関して言葉は重大なので、はっきりした定見なしに、行政として指導してしまうという問題があるし、教育行政のある程度の経験と知識がある方の議論がないと、ちょっとまずいなと思っている一人です。那珂市の場合は、それなりに建前で、終始しましたが、それなりの成果はあったんじゃないかと思っています。そういう意味では A でいいと思います。ただ、これからのあり方としては、やはり、市長さんにも、もうちょっとしっかり考えていただいて、そして、事務方も市長さんに学校現場とか、子どもたちの問題とか、きとんとレクチャーしたうえで臨んでいただきたいという風に思います。

大縄教育長 その他いかがでしょう。

小笠原委員 1つ伺いたいのは、評価達成とか、評価をみて、予算などに反映されていくものですか。

小橋課長 いえ。

小笠原委員 といいますと、変な話、ペナルティーが伴うものではない？

小橋課長 はい。

小笠原委員 私は、良い評価を得ないといけないのかなと思っていたのですが、それは、前年と比較してより良いことにするってことが、良い評価だと思うんですけど、でも、ここが問題だって、人が感じるのは良くない評価ですよ。ペナルティーがないのであれば、何もいい評価ばかりではなく、逆に、こういうところでは本当は本当にかしたいんだ、例えば、教育支援センター設置事業はよかったという評価があるけれども、やっぱりその陰に隠れた、もっと人がいなければ十分な支援体制がとれないんだ、そういうところは、これに隠れてしまっているような気がするの、逆に、これは良くないのって、うまく使って、ここはこんなにいまいちなんだから、逆にもうちょっとお金をきとんとおろしていただいて、充実させたいんだってことに使っていくという風にはできないん

でしょうか。

大縄教育長 1つの方法だと思います。例えばいまの支援センターの件だって、例えば、相談件数が増えて、人を増やさなければならぬものなんだから、それは予算を伴うことなんだから、それはこっちの内部として、きちんと検討すべきことだと思うんですよね。だから、これを評価委員さんに渡して、評価委員さんから意見をもらって、それで、こういう風な意見だったんだって、それで終わりにするんじゃなくて、そこから委員会として、できることって何っていう、そういう資料としての扱いだってできますよね。小笠原委員がおっしゃったように。

小笠原委員 せつかく時間をかけているのにもったいない。

大縄教育長 時間かけてやっている割には、いいことがない。

小笠原委員 議員さんって、うまくいかないところを見つけるが上手じゃないですか。ていうか、常に探しているじゃないですか。それならやっぱり、なんでここはよくないのかなっていうことは、積極的に議会に出してくれると思うんですよね。委員会が不当な評価を得るものではなくて、どうにもならないんだってことを議員さんにみてもらおうツールにしてしまう。

住谷委員 ことの真相をしっかりとつかんでいただいて、その上で意見を言ってもらうのならいいんですが、評価的に悪いものになってしまうとまた変なものになりますので、お互いに反省して。

大縄教育長 あれだけのページ数の意見を書いてくださるわけですからね。

住谷委員 渡邊先生は多少いら立ちながら書いてますね。

大縄教育長 たくさんのご意見をありがとうございました。これで議案第25号については終結といたします。
続きまして、議案第26号、第15回那珂市教育振興大会被表彰者について、学校教育課長より説明願います。

小橋課長 はい。議案第26号、第15回那珂市教育振興大会被表彰者について。
※以下、第15回那珂市教育振興大会被表彰者について説明。

大縄教育長 それでは質疑に移ります。ただいまの議案第26号につきまして質疑のある委員は挙手をお願いいたします。

大縄教育長 意見がないようですので、議案第26号につきましては終結といたします。
続きまして日程第3報告、報告第36号、後援承認について、事務局より説明願います。

寺門(征)補佐 はい。報告第36号、後援承認について。
※以下、後援承認について説明。

大縄教育長 ただいまの報告につきまして質疑のある委員は挙手をお願いいたします。

住谷委員 わからないのでお聞きしたいのですが、イングリッシュキャンプって、どのようなものですか。

寺門(征)補佐 茨城県に避難してきた人と、一般の小学生が国際交流経験者との交流を1泊2日で行うというものです。キャンプの内容につきましては、小学生20名から25名のグループに、留学生が約5名、海外留学経験者が1名つき、1泊2日の共同生活をおくるというのが、キャンプの内容になっております。さらに付け加えますと、英語による名刺交換、世界のクイズとか、英語と体を使った野外アクティビティ、留学生や海外留学経験者との世界の文化や習慣を知る国際交流ワークショップ、留学生との食事などで、主に子どもと留学生及び海外留学経験者との宿泊キャンプが内容でございます。

住谷委員 イングリッシュっていうわけですから、その場で英語を話すわけですか。名前がついている理由はなんでしょう。

寺門(征)補佐 必ずしも英語を話すとは書いてはないんですけど、申請書に書いてあることと言えば、英語による名刺交換とか英語と体を使った野外アクティビティとなっておりますので、基本は英語、英語を通して一緒にキャンプする内容となっております。

住谷委員 これは復興支援よりも、文化交流にウエイトがあるんでしょうか。

寺門(征)補佐 こちらは東日本大震災で支援をいただいたお礼ということで、留学生の無償の派遣を行っているという内容です。

大縄教育長 よろしいでしょうか。それでは意見がないようですので、報告第36号については終結いたします。

続いて、報告第37号から報告第39号ですが、個人に関する案件の為、非公開とすることを提案いたします。地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項及び那珂市教育委員会会議規則第15条の規定により公開しないことにご異議ございませんか。

全委員 ——異議なし——

大縄教育長 異議なしと認め、これより会議を非公開といたします。

——非公開——

大縄教育長 以上で本日の議案等はすべて終了いたしました。
その他事務局よりありましたらお願いいたします。

会沢総括 はい。私の方から2点ほど報告させていただきます。まず1点目は小中学校へのエアコンについての経過報告でございます。12月議会におきまして、追加議案としまして、エアコンの設置工事費の方を要請しまして、可決されております。こちらの小学校の方は、普通教室プラス図書室ということで、小学校の方は9校合計128教室、中学校が合計で60教室への設置というところの予算を上程いたしました。

金額の高低はございますが、小学校が合計で5億2千8百万円ほど、中学校が2億5千2百万円ほど、合わせますと、7億8千万円の工事費でございます。こちらの方は、現在、設計業務の方を進めている段階で、固まった金額ではないんですけども、概算額をはじき出しての計上ということでございます。といいますと、今回の12月で契約しておかないと、契約して、工事スケジュールを考えたときに、ぎりぎりになるかなと思ひまして、今回出させていただきました。1月までが設計業務の委託期間になっておりますので、金額をもう少し圧縮させたいな、と思ひまして進めているわけですけど、1月になれば固まった金額が、設計金額がでるかなと思ひます。

工事のスケジュールにつきましては、1月の設計完了後、2月には入札等を進めまして、契約の方を締結しまして、6月までには工事の方を完了させたいという目標では進めるんですけども、近隣等も全面的にタイミングを同じに進めていますので、機材の在庫不足ですとか、業者に集中してしまうといったことも危惧されておりますので、こちらの希望通りにいくかどうかは、不安には感じてはおりますけれど、6月の完成を目指して進めるということでございます。

2つ目は例月ご報告させていただいております、放射線量測定結果についてご説明申し上げます。12月の測定結果につきまして、各小学校及び幼稚園、中学校、社会教育施設につきましては異常な数値は検出されませんでした。それぞれ数値につきましてはお読み取りいただきたいと思ひます。

給食の食材の11月分の放射性物質の検査結果でございますが、こちらの方も放射性物質の方は検出されておられませんのでご報告いたします。以上でございます。

大縄教育長 その他委員さんから報告、ご意見等がございましたらお願いします。

佐藤委員 エアコンの事業ですが、市単独ですか。

会沢総括 こちら国の方の補助がつくんですけど、3分の1という補助なんですけど、基準額が決まっております、実際の工事の3分の1まで程遠くてですね、非常に低い金額なんですけれども、現在内示で限度額がきているのが、1億2百万。

高橋部長 補足を申し上げますと、今回特別の補正で、エアコン整備の、今回だけ、特別の交付金の制度ができて、旧来であれば、学校の環境整備について3分の

1の補助があったんですけど、まずは全部学校のエアコンとか補修を含めて、その補助金ってつかないケースがある、補助の対象外はしませんよとかあるんですけど、今回は申請すれば全部つけますよというシステムがまずあって、補助額の中で今回は3分の1が基準額なんですけど、基準額の中で今回該当するのが1億2百万なんです。

日程的には、6月いっぱいの完成を目指すんですが、全国的な受注でエアコンの方も施工業者も需要と供給でマッチングしないという事態、その危惧が若干ありまして、6月の完成を目指していますが、工事が限られたスパンで、休みか夜間か長期休みなので、春休みでどこまでいけるか、5月も休みがありますので、どこまでいけるかで変わってくると思いますが、どうにか間に合うのではないかなとは思っております。

佐藤委員 来年の夏が終わっちゃうってことはない？

高橋部長 それはないと思います。

大縄教育長 よろしいですか。ないようですので、以上で平成30年第12回教育委員会定例会を終了いたします。

～ 終了 午後2時04分

会議録調製年月日 平成30年12月20日

会議録調製者	学校教育課長	小橋聡子
会議録署名人	那珂市教育委員会教育長	